

移植率を 100%にするためには

今回、山下先生の M 情報にも書かれていますが、育種改良や個体販売用の授精は、近い将来 AI から ET へ加速されると考えられます。現に弊社が授精を担当している農場では授精頭数より移植頭数が多い農場が出てきています。

収益性のある移植

収益性を高める育種改良のスピードが早くなっている要因は、ゲノム検査と移植がセットになっているからだと考えられます。

昨今、安定しない F1 販売価格も授精産子 F1 牛より、希少性の高い種牛の精液で作られた受精卵産子 F1 牛にする事で販売価格も高値で安定します。

和牛も同じ考え方で、希少性の高い血統の種牛や母親から生まれた和牛子牛は高値で取引されます。

AI から ET への課題

移植は受精卵価格や移植料金がかかるなどコストが授精と比べ高くなります。

授精師あるあるですが、授精の時は発情が微妙な時でも授精してくれる授精師さんが、移植時の黄体が微妙な時は移植を中止してしまうなどの経験をされていると思います。

受精卵価格が高いから移植の受胎率を高めたい！移植を中止にする理由はこれに尽きると思います。

しかし題名にも書いたのですが、移植頭数が多くなればなるほど、移植率を 100%に近づけさせなければ農場の繁殖成績を落としてしまう危険性があります。

そこで移植を中止にするくらいなら、この卵を入れちゃえ！と思えるような価格の安い受精卵が求められます。ワインで例えるなら、特別な日に飲むワインもあれば、毎日気兼ねなく飲むことの出来る美味しいデイリーワインがあるように、このような受精卵「受胎率が高いデイリー卵」があれば移植を中止することが無くなり農場の繁殖を落とすことがなく農場の育種改良や個体販売の収益性を今より格段に上げる事が出来ると考えられます。

現時点では自家採卵した高ゲノム卵や福之姫 F1 卵が、この「デイリー卵」に当てはまると思います。

おおた